

# 不撓不屈

ふとうふくつ

環境浄化研究所(群馬県高崎市)の社長室からはJR高崎駅(同)の新幹線ホームが見える。「群馬発世界。日本の技術で世界に打って出る。」2014年、地元の金融機関が主催する事業プランコンテストの最優秀賞に選ばれた際、社長の須郷高信はこう力を込めた。創業期の苦難を乗り越え、生活用品分野に進出

## 環境浄化研究所

④

「世界をにらむ」事業展開に踏み出す。何をしたいか、どうしたいか「世界をにらむ」。この置物に込めた思いは「世界をにらむ」。事実、最近海外ビジネスの布石を打っている。中国での商標登録を行ったほか、現在は海外大手企業との協業案件を抱える。鬼瓦に決意込め

何でもできる

「何でもできるのがV Bの良さ。社長の判断で系がVBという考えだ。須郷はいう。「会社を会社を方向転換でき、そ

## ニーズ追いかけて世界に挑む

他にできなかったことをばい。今はその時期で「名工」が手がけたもので、にらみが利いたその支局長・大友裕登が担当の活躍の場を広げている。(敬称略)



「世界をにらむ」事業展開に踏み出す。何をしたいか、どうしたいか「世界をにらむ」。この置物に込めた思いは「世界をにらむ」。事実、最近海外ビジネスの布石を打っている。中国での商標登録を行ったほか、現在は海外大手企業との協業案件を抱える。鬼瓦に決意込め

# 不撓不屈

ふとうふくつ

全従業員を結集 2011年3月11日に発生した東日本大震災。福島原子力発電所の事故の影響は、日を追うごとに深刻さを増し、国民の一大関心事となった。直面した問題の一つが汚染水処理。世界を代表する海外の原発大手が名乗りを上げ、事の収束にあたり、この状況を見つめていた環境浄化研究所(群馬県高崎市)社長の

## 環境浄化研究所

③

須郷高信は、一つの使命感に燃えていた。「日本人の誇りに賭け心は変わらない。震災発生から半年もたないうちに、全従業員を動員し身。当然、思い入れも深い。それでも、自身の会社社員数人のベンチャー企業。創業期の危機を脱し、経営がようやく安定していったころだった。須郷は一大決心をする。全従業員を放射線材料の研究に結集させたのだ。



放射線物質を素材を完成。一気に事業化を進め、主力事業へと成長させた。使命感で動く 須郷は「あのときは商売よりも日本人のプライド。日本の技術で絶対に大勝つんだという思いだ。企業に挑戦」と述べた。完成するまでの間、周囲からは「経営を優先する意見が出た。」「生活用品が売れているから生産量を増やせよ」という言葉が、企業の危機感だけなく、国の危機をも救うことになった。(敬称略)

## 選択的吸着素材主力へ成長

かぶった放射性汚染物。と鼓舞し続けた。大手の原子力部門が来て、須郷の思いは結実する。環境浄化の専門家の方々には実績の良さを発揮し、放射性物質を選択的に吸着できる「原研」が開発された。須郷は「あのときは商売よりも日本人のプライド。日本の技術で絶対に大勝つんだという思いだ。企業に挑戦」と述べた。完成するまでの間、周囲からは「経営を優先する意見が出た。」「生活用品が売れているから生産量を増やせよ」という言葉が、企業の危機感だけなく、国の危機をも救うことになった。(敬称略)

# 不撓不屈

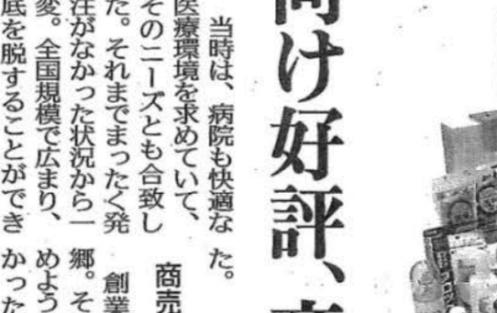
ふとうふくつ

「商売とは魅力的なものをつくることだと経験した。売ろうというよりも、欲しいというものをつくりたいんだということになり、着いた。環境浄化研究所(群馬県高崎市)社長の須郷高信は自身の商売観をこう語る。

## 環境浄化研究所

②

研究者からの転機 ばずの日々が続いていをはるかに超える良好な。体調不良で訪れた病院で見たのが異臭を放つ介護現場。「国の研究成果を、何とか役立たせたい」。衰弱していた須郷の研究者魂に火が付いた。同社のコア技術は「放射線グラフト重合技術」。グラフトとは「接ぎ木」のこと。ガンマ線を照射して分子の一部を切断、別の機能を「接ぎ木」する技術だ。思い立ったら即行動。すでに既存のシート、枕カバー、カーテンに消費機能を持たせさせた。結果は病院側の予測の優位性を訴えた。



生活用品に進出し、多種多様な商品を展開 当時の、病院も快進軍。医療環境を求めていて、そのニーズとも合致した。それまでまったく発注がなかった状況から一変。全国規模で広まり、めよとは一回も思わなかつた」と振り返る。 刻まれた。 病院向けで放射線利用技術が広がり、どん底かれた転機は、収益基盤の構築だけでなく、研究一筋だった経営者に商売の鉄則を教える機会ともなった。(敬称略)

## 病院向け好評、商品群拡充

「売れないのは私の研究自体がまずいから。魅力を持ったものだったら、こちらが売らなくても向こうから欲しいとやってくる」。目先の黒字にこだわりのではなく、利用者自身が喜んでくれるものを提供する結果はついてくる。商売の心得が強く

# 不撓不屈

ふとうふくつ

国の研究還元 環境浄化研究所は放射線技術を用いた機能性素材を展開している。福島第一原子力発電所の除染材料をはじめ、多種多様な製品を世に生み出した。手がける素材の効果に大企業も注目し、相談依頼が舞い込むほどで、国内外の企業から熱視線を注がれている。

## 環境浄化研究所

①

国内外から熱視線 須郷は当初、この依頼を断った。定年まであと3年であり、企業からの誘いもきていた。しかたある言葉が人生を大きく変えることになる。「今やれる人は君しかない」。須郷の胸中に



創業して数年は苦労した...と須郷社長 困りごとと解決使命に気づく いた一室の前を通った。その部屋から異臭がした。部屋のなかでのお互い交換で、その臭気が室内に広がっていたのだ。その光景をみて確信した。「これが我々の進むべき道」だと。 「高度経済成長を支え

## 困りごとと解決使命に気づく

「困りごとと解決使命に気づく」 須郷は当初、この依頼を断った。定年まであと3年であり、企業からの誘いもきていた。しかたある言葉が人生を大きく変えることになる。「今やれる人は君しかない」。須郷の胸中に